

■会沢正志斎 水戸藩主徳川斉昭の側近で、神道と儒学を合わせた大義名分論を唱え尊王攘夷運動に大きな影響。

あいざわせいしさい

天明大飢饉始1782＝ 常陸国水戸城下で、代々農民で郡奉行下屬小吏の会沢恭敬の長男に生まれる。幼名は安吉。

田沼意次失脚1786＝ 4歳：

混浴禁止・・・1791＝ 9歳：_藤田幽谷に入門し、

松平定信引退1793＝11歳：

高弟となり、

古事記伝・・・1798＝16歳：元服し、恒蔵と称する。

蝦夷地直轄始1799＝17歳：_史館彰考館に勤めて、「大日本史」の編纂に従事、

伊能測量始・1800＝18歳：

宣長没・・・1801＝19歳：*対外問題に関心抱き、「千島異聞」を著わす。

_実力認められて昇進し、

ペリ来航・1804＝22歳：5歳だった_徳川斉昭の侍読を命じられ、以後、斉昭に17年就く。

浮世風呂・・・1809＝27歳：

水野忠成老中1818＝36歳：

シボク小鳴滝塾1824＝42歳：水戸領内の浜にイギリス人が上陸した際、筆談役で接触して危機感深め、

異国船打払令1825＝43歳：*主著「新論」を脱稿、神儒を合わせた大義名分論で、のちに藩内外の尊王攘夷運動に大きな影響を与える。

・・・1826＝44歳：_藤田幽谷が死去したため、史館総裁代役となる。

日本外史・・・1827＝45歳：

シボク小事件・1828＝46歳：

シボク小追放・1829＝47歳：藩主継嗣をめぐる藩内紛争を江戸に越訴、藤田東湖とともに側近として、徳川斉昭の擁立に成功。

富籤流行・・・1830＝48歳：郡奉行、

富嶽三十六景1831＝49歳：御用調役、_史館総裁を歴任し、

廃仏殿釈野趣など、_天保の藩政改革を断行する。

・・・1836＝54歳：

大塩平八郎乱1837＝55歳：

_藩校{弘道館}の建設に尽力し、

勸進帳初演・1840＝58歳：_初代教授頭取に任じられるが、

天保改革終・1844＝62歳：_保守派と結ぶ幕府によって斉昭が失脚すると、雪冤運動に奔走し、

阿部正弘首座1845＝63歳：*致仕、

孝明天皇・・・1846＝64歳：_塾居を命じられる。

この間、多くの著作を成し、後期水戸学の発展に貢献。

北斎没・・・1849＝67歳：_赦免され、

ペリ来航・1853＝71歳：学校教職。_ペリ来航により斉昭が幕政に参与すると、対応策を上書、

開国開港・・・1854＝72歳：

安政大地震・1855＝73歳：_再び小姓頭兼弘道館教授頭取に復帰し、將軍家定にも謁見。

五ヶ国条約・1858＝76歳：*斉昭が再び謹慎となり、水戸藩に降下した攘夷勅諭返還の幕命が出るとそれを支持。幕命を拒否する激派と分裂して鎮派に属し、一部同志から非難されるに至る。

桜田門外変・1860＝78歳：変には、直弼を襲撃した藩士を論難、

生麦事件・・・1862＝80歳：_「時務策」を書いて、一橋慶喜に提出。藩の馬廻上座に加えられたが、

8月18日政変 1863＝81歳：_没した。

「殉葬篇」「下学運言」。

「没年日本史人物事典」,「日本の群像」。平凡社百科事典, インターネット,